

伝言板

No.28(H29.11)



NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

みなとサポート事業	1	北海道開発局防災エキスパート
支部長等会議	4	(港湾・空港・漁港) 9
助成事業	4	事務局・支部体制 12

みなとサポート事業

当事業は、開発建設部が開催する「みなと見学会」、「みなとパネル展」、「アンケート調査」などの実施について、当機構に支援要望のあった業務から支援可能な業務を選択し、会員の“みなとサポーター”が支援するもので、平成20年度から実施しています。

札幌支部

石狩湾新港「みなと見学会」

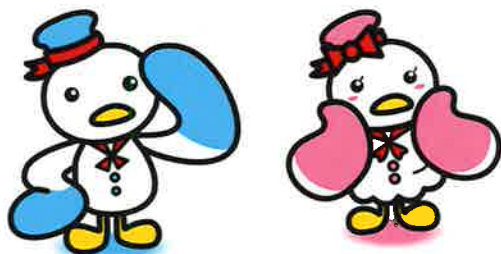
開催日：平成29年6月13日(火)・14日(水)・15日(木)・20日(火)の4日間

開催場所：石狩湾新港港内

開催概要：石狩市内10小学校の3年生から5年生541名を対象に、小樽港湾事務所が石狩湾新港の歴史や利用状況について、テント内教室でパネルを使用して学習、港湾業務艇に乗船(毎回4航海から5航海)して、港の活動状況を見学。

サポーター：1日2名で延べ8名が支援

支援内容：ライフジャケットの脱着、港湾業務艇への乗降タラップ設置、取り外し、乗降時の児童誘導、当機構記念グッズの贈呈



岩内港「みなと見学会」

開催日：平成 29 年 7 月 5 日(水)

開催場所：岩内港港内

開催概要：岩内町内 2 小学校の 3 年生 95 名を対象に、小樽港湾事務所が岩内港の歴史や利用状況について、パネルを使用して学習、港湾業務艇に乗船（4 航海）して港の活動状況を見学

サポーター：2 名が支援

支援内容：ライフジャケットの脱着、乗降時の児童誘導、当機構記念グッズの贈呈、送迎バスの見送り



小樽港「みなと見学会」

開催日：7 月 16 日(日)

開催場所：小樽港港内（小樽港マリーナ）

開催概要：毎年海の月間の一環として、海の日前日の日曜日に開催されるマリン・フェスタ in 小樽のイベントに協賛して、小樽港湾事務所が港湾整備事業の理解と啓発を目的に、小樽市民（100 名）を対象に港湾業務艇からのみなとを見学（5 航海）。当日は大雨警報などが発令中であった為、午前中の 2 航海（40 名）は実施できましたが、午後からの 3 航海は中止となりました。

サポーター：4 名が支援

支援内容：受付、ライフジャケットの脱着、乗船場所への誘導・安全管理、当機構記念グッズの配布



函館支部

函館港「みなとパネル展」及び函館港「みなと見学会」

開催日：7 月 15 日(土)・16 日(日)

開催場所：国際水産・海洋研究センター及び函館港湾事務所構内

開催概要：「はこだてマリンフェスタ」に協賛して、函館港湾事務所が市民に港湾整備事業を広く理解して頂くため、15 日に港湾業務艇で港湾事務所職員の説明を聞きながら港内を一周、当日は 3 航海（62 名）を実施した。15 日、16 日は、海洋センター会場内でみなとパネル、港湾施設の模型などを展示、約 700 名が来場。

サポーター：15 日に 2 名、16 日に 1 名の 3 名が支援

支援内容：みなと見学会はライフジャケットの脱着・乗船誘導・船上警備。パネル展は、展示物の説明、当機構着ぐるみ記念撮影補助



室蘭支部

室蘭港「みなとパネル展」

開催日：7月17日(月)

開催場所：道の駅「きたら室蘭」

開催概要：室蘭港湾事務所が、港湾整備事業や港の活動が市民の生活に広く関わっていることを理解して頂くことを目的に、室蘭開発建設部の事業をパネルや模型で紹介、当日は約350名が来場。

サポーター：3名が支援

支援内容：来場者の誘導、パネル・模型などの説明、アンケート用紙の配布・回収



苫小牧支部

苫小牧港みなとパネル展 2017「みんなの苫小牧」

開催日：7月8日(土)・9日(日)

開催場所：イオンモール苫小牧

開催概要：苫小牧港湾事務所が港湾整備事業を広く苫小牧市民に理解して頂くことを目的に、苫小牧港航空写真、苫小牧建設歴史写真、みなと関係パネル、RORO船・コンテナ船の模型などを展示、クイズラリーやぬり絵、ペーパークラフトコーナーを設置し、楽しみながら学んで頂いた。

サポーター：7月9日に2名支援

支援内容：会場案内、クイズラリー、ぬり絵のお手伝い、当機構着ぐるみ記念撮影補助



釧路支部

十勝港「みなと見学会」

開催日：8月5日(土)

開催場所：十勝港港内

開催概要：帯広開発建設部が「十勝港みなとまつり」協賛事業として、広尾町民及び隣接市町民を対象に港の活動・役割などを理解して頂くため、港湾業務艇で港内を見学。当日は、午前2航海、午後3航海で、約80名が乗船。100歳のおばあちゃんがお孫さんと一緒に参加してくれた。

サポーター：2名が支援

支援内容：ライフジャケットの着脱、乗降の誘導・警備、当機構記念グッズの配布



支部長等会議

6月15日(木)正午から、セントラル札幌北ビル(一社)寒地港湾技術研究センター会議室で、当機構支部長等会議を開催しました。会議は、事務局と各支部間の情報を共有し、みなとサポート事業、みなとパネル展、みなと座談会などの業務実施を円滑に進めることを目的に毎年開催しております。

札幌、函館、苫小牧、室蘭、釧路の支部長(室蘭は都合により欠席)および、支部次長、理事長、事務局長、事務局次長の20名が出席しました。

開催にあたり、中村理事長から、当機構のメンバーも高齢化が進んでおり、各事業も多様化している中、効率良く活動してほしいとの挨拶があり、福岡事務局長から各議事の説明がありました。

議事概要は以下の通りです。

1. 事務局等体制(事務局14名・各支部7名)
2. 当機構主要業務及び日程
3. みなとサポート事業登録者・実施計画

4. 助成事業審査結果
5. 着ぐるみ貸付事業の計画
6. 当機構オリジナルグッズ配布計画
7. 北海道開発局防災エキスパート(港湾・空港・漁港)登録者および連絡網

議事説明のあと、サポート事業などについて質疑応答が行われ、終了しました。



助成事業

道内のみなと街の活性化を目指し、企画・実施されるイベントなど、様々な事業を支援し、みなと街の活性化に寄与することを目的とした「助成事業」を平成20年から実施しています。

評価審査委員会

第10回目の今年度は、各開発建設部「みなとの相談窓口」を通じて推薦いただくと共に、当機構のホームページおよび広報誌「伝言板」で募集要領を公表し、4月3日(月)から5月8日(月)かけ公募しました。

一般の部は10団体から10件、特定の部は6団体から6件の申請がありました。

採択事業を決定するため5月16日(火)に助成事業「評価審査委員会」を(一社)寒地港湾技術研究センター小会議室で開催しました。委員は学歴経験者

1名、寒地港湾技術研究センター理事長、当機構の理事長の3名で構成され、当機構事務局長が各団体から提出された応募資料を説明して、審査に入りました。

審査では、地域住民との連携、過去の開催実績などを考慮し、一般の部は10件、特定の部は6件の事業を採択、5万円から10万円を助成しました。



評価審査委員会

(一般の部)

	活 動 名 称 活 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	・海の日コンサート 「北前船物語チェンバロの奏で」 ・みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭	・歌や音楽をみなとを感じながら港を学ぶ機会とする ・北前船物語とチェンバロ演奏と共に、物流港の歴史を学ぶ	7月23日(日) エンルムマリナ室蘭
②	・みなとコンサート ・女性みなと街づくり苦小牧	・多くの市民がみなとに訪れ、「海、みなと」を理解して頂くため、その魅力を紹介 ・みなとに立地する施設を活用して演奏会とみなとパネル展を開催	8月11日(金)及び 1月 キラキラ公園・ ハーバーFビル
③	・WAKKANAI みなとのコンサート2017 ・稚内のみなとを考える女性ネットワーク	・最北稚内の夏を楽しみ、市民と共に“みなと”の重要性を考え、夢と活気を与える市民主体の音楽会 ・歴史的建造物北防波堤ドームを活用したコンサート	7月15日(土) 北防波堤ドーム内ステージ
④	・みなとの魅力の発信 「ウォーターフロントフェスティバル」 ・みなとまちづくり女性ネットワーク・オホーツク	・市民と共に、みなとに親しむ広報活動 ・紋別港第3防波堤公園で小学生の金管バンド、中高校生の吹奏楽団が参加した海洋コンサート	8月19日(土) クリオネプロムナード



一般の部 ②みなとコンサート



一般の部 ③ WAKKANAI みなとのコンサート 2017



一般の部 ④みなとの魅力の発信
「ウォーターフロントフェスティバル」



活動団体名	活動目的 活動内容	開催日 開催場所
⑤ ・はこだて縄文とみなと学習会 ・みなとまちづくり女性ネットワーク函館	・親子対象に南茅部の昆布や縄文文化を学び地域産業とみなとの関わりを学ぶ ・昆布作りの現場見学と縄文交流センターでの体験学習	9月27日(水) 函館市縄文文化交流センター
⑥ ・トリプルM計画 「もっと・みんな・みなおそう！」 ・クシロ・ミナトテル	・クルーズ船乗客の「おもてなし」を通して釧路港に親しむ機会を提供 ・“もっと”気軽に茶道体験、“みんな”見送り、“みなおそう”我がまちをテーマにした体験活動の推進	5月16日(火) 9月12日(火)・ 18日(月) 旅客船ターナル・MOO周辺
⑦ ・深層水まつり ・深層水まつり実行委員会	・岩内町内外の企業に、海洋深層水の更なる活用方法のアピール ・深層水産品の紹介、パネル展示による深層水の知識、深層水タッチプールで地元魚貝類の紹介	10月・3月 岩内町地場産業サポートセンター
⑧ ・観光客と町民との「おもてなし交流イベント」 ・鴛泊港活性化推進協議会	・利尻島玄関口の鴛泊港フェリーターミナルを中心に、観光客と島民を結ぶ交流活動拠点としての情報発信 ・会場は、みなとまちを意識して、地元海産品の販売、郷土芸能の披露	7月16日(日) 利尻富士町鴛泊港緑地公園
⑨ ・地域住民と観光客のふれあい交流空間の創造 ・利尻町活性化協議会	・利尻の短い夏を、島民と観光客とのふれあい交流拠点として、明日の地域づくりに繋げる ・町内小学校のよさこいソーラン、餅まき大会など観光客と町民のふれあいイベント	8月26日(土) 利尻町沓形港フェリーターミナル特設会場
⑩ ・観光客と地元町民が交流できる空間の創造 ・礼文町産地協議会	・礼文島の港で水揚げされた水産品を紹介して、観光客と島民が交流できる空間の創造 ・町民、観光客を対象にした、礼文島特産品の水産グルメイベント	7月17日(月) 礼文町香深港フェリーターミナル隣接地



一般の部 ⑧観光客と町民との「おもてなし交流イベント」



一般の部 ⑨地域住民と観光客のふれあい交流空間の創造



一般の部 ⑩観光客と地元町民が交流できる空間の創造

(特定の部)

	活 動 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	<ul style="list-style-type: none"> ・むろらん港鉄人舟漕ぎ大会 ・むろらん港鉄人舟漕ぎ大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・港に対する市民の理解を深め、多くの人に交流の場を提供して、港を核とした地域活性化に寄与する ・漕ぎ手6人、艇長、旗持ちの8人が、全長150mをタイムで争うレース 	9月3日(日) 室蘭港 入江地区中央ふ頭
②	<ul style="list-style-type: none"> ・みなと南極まつり ・稚内副港ボートレース2017 ・稚内地元愛育成協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・稚内港を市民と連携した交流拠点機能を拡充し、港のにぎわい拠点を継続的に確立する ・漕ぎ手8人、音頭、舵取りの10名が往復160mをタイムで争うレース 	8月6日(日) 稚内港 第1副港
③	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路港舟漕ぎ大会 ・釧路港舟漕ぎ大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・海上を舞台に、住民参加型の感動を与えるイベントを通し、活気ある釧路の港まちづくりに貢献する ・漕ぎ手6名、声かけ、旗持ちの8名が往復200mをタイムで争うレース 	8月5日(土) 釧路港 幣舞橋上流



特定の部 ①むろらん港鉄人舟漕ぎ大会



特定の部 ②みなと南極まつり
稚内副港ボートレース2017



特定の部 ③釧路港舟漕ぎ大会



活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
④ ・ 苫小牧港はすかっふボートレース ・ 苫小牧港はすかっふボートレース実行委員会	・ 開港から 50 年を超えているが、市民との接点が少なく、海上での競技を繰り広げ、みなとまち作りに貢献したい ・ 5 名で 220 m の周回コースを手漕ぎボートでタイムを争うレース	8 月 5 日(土) 苫小牧港 キラキラ公園
⑤ ・ 函館港まつり協賛 函館ペリーボート競漕 ・ 函館ペリーボート競漕実行委員会	・ マッシュ・ペリー提督が来航した、歴史的開港の事実を参加者一同で共有し、広くみなとまち函館をアピール ・ 漕ぎ手 6 名、ドラ鳴らし、舵取りの 8 名が往復 150 m をタイムで争うレース	7 月 30 日(日) 函館港南ふ頭
⑥ ・ いかだレース大会 ・ 小樽築港バイエリア委員会	・ 小樽港貯木場の再生を願い、“海で・港で・舟で”をテーマに、子供達や市民の憩いや潤い賑わいを創造する ・ 小学生 4 年生以上の参加で、「3 人漕ぎ」・「4 人漕ぎ」の 2 種目のレース	8 月 20 日(日) 小樽港 若竹休眠貯木場



特定の部 ④苫小牧港はすかっふボートレース



特定の部 ⑤函館ペリーボート競漕



特定の部 ⑥いかだレース大会

北海道開発局防災エキスパート (港湾・空港・漁港)

平成18年4月に発足した防災エキスパート制度は、港湾・空港・漁港施設などの、整備、管理に専門知識を有した当機構エキスパート登録者が、大規模災害時に、北海道開発局港湾空港部から要請を受け、支援活動を実施するものです。

新規登録者認証式

10月4日(水)、北海道開発局港湾空港部長室で、防災エキスパート新規登録者認証式が行われました。今年度は4名が港湾空港部幹部立会の中、真田仁港湾空港部長から登録通知証の公布を受けました。今後は33名の防災エキスパート体制で支援活動を進めて行くこととなりました。



認証者と港湾空港部幹部

防災エキスパート研修

今年度の北海道開発局研修は、新規登録者認証式のあと10階供用会議室で、防災エキスパート26名が参加して開催されました。

主催者として真田仁港湾空港部長から「最近の大規模災害、熊本地震、平成23年の東日本大震災、北海道では南西沖、釧路沖地震など大災害が目白押しに発生しています。また、今年7月港湾法の一部改正され、非常災害時において、港湾管理者からの要請があり、かつ、地域の実情等を勘案して必要があると認めるときは、国が港湾施設の利用調整などの管理

業務を行うことができると定められ、災害時の国の仕事が広がってきています。このような状況の中、防災エキスパートに期待がかかるところです。今日の研修を通して、実のあるシステムの構築をお願いします」との挨拶がありました。



真田港湾空港部長の主催者挨拶

続いて、防災エキスパート活動講演として、河川防災エキスパート葛西正喜様から「防災エキスパート(河川)活動」について、平成28年8月に発生した、空知川被害の防災エキスパート出動について、リアルな活動状況の説明を受けました。まだ出動経験ない港湾エキスパートとし大変興味がありました。次に(一財)北海道道路管理センターの岡田務様から「全道の道路防災エキスパートの活動について」、制度の設立経緯、現場出動の実績、具体的な活動方法と手順、TEC-FORCEの訓練、研修参加などについて説明を受けました。

続いて、事務局から、防災エキスパート(港湾・空港・漁港)制度と近年の災害発生状況について説明がありました。

後半は、防災エキスパート研修者をA、Bの2グループに分け、テーマ①として「今後1年間の活動状況について」(イ)過去の活動実績3項目、(ロ)新たな取り組みについて2項目、②として「各開発建設部が防災エキスパートに想定(希望)している活動内容について」(イ)直轄への補助6項目、(ロ)直轄への助言12項目について意見交換を行いました。

た。時間の関係で十分な議論とはなりませんでしたが、Aグループから取りまとめ発表で、①の(イ)のテーマについて実績もあり可能である。(ロ)について慎重論が多くありました。

②について想定(希望)について、項目も多く対応が難しい部分もあり、今後の各開発建設部との現

地研修会などで意見交換して前に進めて行きたい。

Bグループの①の(イ)についてAグループと同意見でしたが、(ロ)について参加可能との意見でした。またテーマ②について、Aグループと同意見で今後検討が必要との意見集約でした。

最後に佐々木純空港・防災課長から、「河川の防災エキスパート活動の説明を聞き、エキスパート活動のイメージが少し湧いてきたのではないかと思います。また、各開建からのエキスパートへの想定(希望)について、対応が難しい項目も多く含まれているように感じるので、開建および事務局内で再度意見を検討・整理して、エキスパートへ示し、議論して頂ければと思います。また、各開建との研修会などで意見交換の場を積極的に作って行きたい」と研修の総括と閉会挨拶を受けて閉会しました。



A グループ発表



B グループ発表



B グループ意見交換



A グループ意見交換



佐々木空港防災課長の閉会挨拶

釧路川総合水防演習及び広域連携防災訓練 (サテライト会場：釧路港)

北海道開発局・釧路・根室管内13市町村主催による、釧路川総合水防演習が6月17日(土)標茶町釧路川左岸ほかで開催した。

広域連携防災訓練は、同日10時30分から釧路港東港(-9.0m)(耐震)岸壁で開かれた。

訓練目的は、地震・津波による被災時の港湾機能の早期回復などに備え、関係機関の連携強化を目的とした実働訓練。

訓練は、午前10時48分頃に釧路沖を震源とするマグニチュード8.2の地震が発生し、釧路市で震度6強の強い揺れ、この地震発生直後に大津波警報が発表され、最大10mの津波が来襲、その後津波注意報に切り替わり、津波警報も解除の被災想定で実施した。

訓練スケジュールとして、開会式に引き続き①避難訓練②通行止め訓練③漂流者捜索・救助訓練④港湾巡視訓練⑤油防除訓練⑥航路啓開訓練⑦被災状況調査訓練⑧緊急支援物資輸送訓練を実施、天候にも



(防災訓練) 開会式



防災状況調査訓練

恵まれ予定通り正午に終了した。

協力団体は、第1管区海上保安部釧路海上保安部、北海道運輸局、陸上自衛隊北部方面隊、北海道警察釧路方面本部、北海道釧路方面釧路警察書、釧路市消防本部、(一社)日本埋立浚渫協会北海道支部、北海道港湾空港建設協会、(一社)日本海上起重技術協会北海道支部、全国浚渫業協会北海道支部、(一社)日本潜水協会、(一社)海洋調査協会、(一社)港湾技術コンサルタント協会(一社)釧路建設業協会、釧路港湾事務所工事安全協議会、NPO法人北海道みなどの文化振興機構(防災エキスパート)、北海道ポートエンジニアリング協会の17団体参加した。当防災エキスパート6名は⑦番の被災状況調査訓練に参加、エキスパート3名に開発局職員1名が加わり4名体制の2班が、レベル、テープをそれぞれ使用して、岸壁法線の変位調査・エプロン舗装コンクリートの陥没調査を実施した。

港湾関係災害復旧事業者会議

9月13日(水)札幌第一合同庁舎で、全道の直轄災害復旧事業者、地方自治体災害復旧事業者、防災エキスパートが参加した災害復旧事業に関する担当者会議が開催された(参加は64名内防災エキスパートは22名)。

会議は、「災害復旧事業の概要と実施について」国土交通省・港湾局、海岸・防災課から、災害事例を交えた災害復旧事業採択要件について、災害査定 of 被災事例による復旧方針の検討、留意点について、今年4月に発生した奥尻港の災害による災害復旧資料を手本に、資料作成要領の説明を受けた。

最後に災害に該当するか否かなどについて具体的な事例をあげ、参加者と意見交換して終了した。



担当者会議



■ 事務局・支部体制

平成 29 年度の事務局については、13 名でスタートしましたが、12 月 1 日現在 1 名が退任、新たに 2 名の方が事務局として参加していただき、また、支部体制も充実させ、活力あるみなとまち作りを、会員の皆様と共に進めてまいりますので、ご支援、ご協力お願いいたします。

事務局

役職	氏名	役職	氏名
事務局長	福岡 康宣	事務局次長	岸 哲也
事務局次長	毛利 照男	事務局次長	秋葉 洋一
事務局次長	東 志郎	事務局次長	高田 稔年
事務局次長	市来 隆	事務局次長	斉藤 賢悦
事務局次長	渡部 優	事務局次長	大前 豊
事務局次長	渡辺 修司	事務局次長	柿崎 永己
事務局次長	三原 一憲	事務局次長	松崎 重貫

支部

役職	氏名	役職	氏名
札幌支部長	石島 隆司	室蘭支部長	中野 克彦
札幌支部次長	澤合 英治	苫小牧支部	小山 良明
函館支部長	高森 孝紀	苫小牧支部次長	秋葉 洋一
函館支部次長	阿部 俊六	釧路支部長	平山 裕義
		釧路支部次長	本間 久雄



事務局連絡方法

当機構事務局への連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこともございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人

北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号
セントラル札幌北ビル 5F